

8 橋りょうのアセットマネジメント

コーディネーター それでは、時間がまいりましたので、次の「橋りょうのアセットマネジメント」に移りたいと思います。資料につきましては 24 ページ、25 ページでございます。

初めに、これまでのおさらいということで私のほうから説明をさせていただきますが、こちらにつきましても論点が 3 つの項目に分かれておりまして、まずは、橋りょうの老朽化の現状について。はっきりした統計はないものの、寿命は 5 ～ 60 年程度といわれており、予防保全を行うことにより 100 年程度に延びることを想定しているという説明がございました。

それから、既に建設後 50 年を経過している橋りょうが 23 橋あるけれども、その状況については、そのうちの約 20 橋は健全な状況で、残りについても早急な修繕を必要としないことを確認しているというような答えでございました。

それから、長寿命化修繕計画による取り組みについてという項目でございますが、建設後 50 年以上経過した橋は、今後、30 年間で現在の 4 % から 77% に増えてしまうが、この計画で適切に対応ができるのか、こういう問いに対しまして、所管局のほうからは、計画ではおおむね 5 年ごとに橋りょうの点検を行って、劣化予測に基づいて、損傷が小さいうちに修繕をして、低コストで維持管理を行う計画であるという説明がございました。

修繕時期を調整して費用を平準化して行っていく。それで、点検や補修工事のペースについてちゃんとできるんだろうかということにつきましては、計画では年間 10 橋から 20 橋程度の補修をしていきたいと考えているけれども、本部からは、かなりのペースアップ、コストの兼ね合いも含め、急いでやらなければならないだろうというような問いがございました。

今後の計画の推進についてということで、計画の実行性を確保するために、本市の実際の点検結果、これまでの計画は類似の例を参考にしたものですけども、今度は本市の実際の点検結果を反映させて、劣化予測の制度をより精密にして、実行性の高い計画に更新していくことにするというような説明がございました。

こうしたやりとりを踏まえまして、市民委員の皆さんからの主な意見といたしまして、長期計画を立てて、経験を積み重ねて、常に見直しをして安全性が保てるように頑張ってもらいたいというご意見、それから、長寿命化管理対象としていないその他の橋りょうというものもございますが、この管理計画について適切に予算を確保して施工してもらいたい。それから、素人の目では橋の健全性、橋りょうが大丈夫かどうかという判断をすることが難しいので、その健全性を市民に分かりやすいように公開してほしいと思うというご意見。

それから一方で、いずれ架け替えなければならないんだから、早期に架け替えを行って構造力アップを図ったほうが、最終的にはライフサイクルコストが低下するケースがあるのではないかと。それから、計画ありきではなく、修繕時期前であっても危険な橋りょうは前倒して修繕してほしい。技術やコストパフォーマンスの向上により、その都度見直しを行っていくべきだ。また、修繕し続けることで、修繕を繰り返すことで本当に安全かど

うか疑問がある。それから、劣化は見えないところで進行しているのではないか。架け替えの選択肢も考慮する必要がある。事業費がとても大きい事業なので、定期的な見直しを正しく行い、この事業計画が遂行されることを期待するというようなご意見をいただきました。このご意見につきましては、この計画を続けるというご意見と、それから、(橋梁を)造り直した方がいいのではないかというようなご意見があったように感じました。

それから、市民モニターの方のご意見ですけれども、早め、早めの点検が重要である。それから、建設された年が分からない橋については、長い年月がたってる可能性が高いんじゃないかと。点検作業については慎重に行ってほしいというご意見。それから、昨今の気象とか土地開発に伴う環境の変化、こういったことで橋りょうや河川に対する負荷が増大していることが考えられる。必要な強度、安全性の再確認も必要なのではないか。それから、市民の負担を考えつつ事業を進めてほしい。費用を平準化するという視点は理解できるといったご意見をいただきました。

また、傍聴された方からは、定期点検の基準等を明確にして、市民にも分かりやすいものにしたほうがよいと感じた。それから、市民が何げなく使う施設の維持管理に膨大な費用がかかるといったことが明らかになった点は非常に良かったというようなご意見をいただきました。

第1部での議論の概要と、皆さま方からいただきました主な意見につきましては以上のとおりでございます。それでは、次に事業所管部局における見直し内容の案につきまして説明をお願いいたします。

所管局 所管しております土木部長の黒田でございます。私どもの職員をご紹介させていただきたいと思っております。隣におりますのが金子道路環境課長でございます。その隣が龍田係長、そしてもう1人、秋田主任でございます。これから皆さま方に私どもの見直し案をご説明させていただきたいと思っております。よろしくをお願いいたします。

所管局 それでは、私のほうから見直しの内容について説明をさせていただきたいと思っております。橋りょう長寿命化修繕計画の更新に当たりましては、今後も橋りょう点検を継続し、その結果を蓄積することにより、劣化予測の精度を高め、現実の状況に整合する修繕計画となるようにしていきます。また、将来、新技術を使った有効な修繕工法が開発された場合には、その採用も視野に入れ、実行性のある修繕計画として継続してまいります。長寿命化修繕計画の対象橋りょうは現在 270 橋としておりますが、今後も橋りょうの使用状況や道路の計画、橋りょう周辺の環境の変化等を勘案しまして、計画更新時に合わせて対象橋りょうの追加や削除を行っていく計画です。

また、修繕計画の策定に当たりましては、橋りょうの点検結果や使用状況、また、道路の交差施設の計画等も考慮し、修繕の継続だけでなく、架け替えとの比較検討も行って、計画に反映してまいりたいと考えております。

今後も橋りょう点検を定期的に実施いたしまして、橋りょうの状況を把握していきます。

ご意見もいただきましたが、建設後、かなり年数が経過しているものや、建設年の分からない橋りょうについても、安全性の確保のため、適切な点検を行い、維持管理をしていきたいと思っております。

また、点検結果につきましては、橋りょうの構成部材ごとに点検した結果を、その健全度状況に応じた評価記号で表示したものや、調査写真、図面等がまとめられたもので、橋りょうによっては 100 ページを超える報告書となっております。このため、部材ごとに異なる評価となっている点検結果で 1 つの橋りょうの状態を単純化して表現できないため、点検結果をどのような指標で分かりやすく公表するかにつきましては、今後、検討課題とさせていただきたいと考えております。

コーディネーター ありがとうございます。ただ今の説明につきまして、何か行革本部のほうからございましたらお願いします。

行革本部 はい。確認をさせていただきたいと思いますが、今、長寿命化修繕計画によって橋りょうの修繕を進めていくということですが、その対象の橋というのが、おおむね長さが 15 メートル以上の 270 橋というお話がありましたので、前回、ご意見がありましたけれども、そのほかに 15 メートルに満たない橋が約 700 橋あるということになると思いますので、その対象外の橋りょうについてはどうなのかということを確認したいと思っております。

所管局 点検につきましては、長寿命化計画対象の 270 橋以外の橋りょうにつきましても、今後、おおむね 5 年ごとに点検していく予定でございまして、補修が必要となれば、その都度点検した結果を踏まえて補修していきたいと考えています。

所管局 若干補足をさせていただきたいと思っております。前回お話しした重要橋りょう 270 橋のマネジメント計画ということで私どもは考えておりますが、そのほかの橋りょうが 709 橋ございますけれども、数で比べると計画対象外の 709 橋のほうが多いこととなりますので、そちらの心配があって市民委員の皆さまのご意見が出たものと考えております。この辺について若干補足で説明させていただきますが、私どもの考えている 270 橋を面積にしますと約 17 万平方メートル、残りの 709 橋が 3 万平方メートルでございます。ということは、割合にしますと、270 橋については 85%、残りの 709 橋については約 15%でございます。ですから、重要な橋梁として 270 橋を長寿命化計画の対象としていますが、これは面積換算で 85%の割合で計画を立てている、ということをご理解いただきたいと思います。

行革本部 ありがとうございます。面積で言えばおおむね 85%をカバーしているということと、残りのものについても点検と修繕というのはきちんと的確にやっていくということで、安心をいたしました。

もう 1 点だけ伺いますが、情報提供が非常に重要だということで、ただ、それはそ

うは言いながらも、点検の結果というのは非常に複雑であるので、分かりやすい指標で公表するよう検討するとの話がございました。これは他市でそういったことをやっている事例があるのでしょうか。

所管局 はい。ホームページ等で橋りょうの点検結果を公表している自治体はかなりあるようですが、その方法は様々でございまして、管理している橋りょうの数も様々でございます。その表現につきましても、各橋りょうを全部、健全度ランクごとに分類して表で掲載しているところもありますし、そのほか、点検の結果把握された損傷の概要を総括して文章でまとめているものや、管理する橋りょう数が多くなると、橋りょうごとではなく、損傷の種類ごとに確認された割合を示しているなどの事例がございまして。

公表方法が統一的ではなく、それぞれの自治体で工夫されているようでございますが、今後はなるべく分かりやすい方法や指標で情報提供できるよう検討してまいりたいと考えております。

行革本部 ありがとうございます。以上でございます。

コーディネーター はい。それでは、行革本部からの見解を説明してください。

行革本部 はい。それでは25ページ右下になりますが、3点でございます。1点目は、ご説明の中でもありましたけれども、これは前回ご意見をいただいた中で、修繕よりも、むしろ架け替えたほうがトータルでは安くなる可能性があるのではないかという点、あるいは、技術開発が進めばもっと安い方法があるのではないかということ、こういったことをぜひ加味してほしいという市民委員の皆さんのご意見をいただきまして、そういったことを計画の更新に十分に反映をさせていただきたいと思っております。それが1点目でございます。

それから2点目は、今ご説明いただきましたのでよく分かりましたが、計画の対象外の709橋もございまして、それも含めて適正な維持管理を行っていただきたいというのが2点目でございます。

それから3点目が、最後に質疑しました情報提供、情報公開のお話でございまして、なかなか他市でもやり方を模索しているようなところはあるようでございますけれども、非常に重要なテーマであり、かつ、お金もかかるものでございまして、市民に分かりやすく情報提供しながら進めていっていただきたいと思っております。以上でございます。

コーディネーター はい。それでは、ただ今の行革本部の見解を受けまして、黒田土木部長さん、ご意見ございましたらお願いします。

所管局 市民委員の皆さまのたくさんのご意見、誠にありがとうございます。今、行革本部のほうから、皆さまのご意見を頂いた上での見解ということでございまして、私ども

のほうで、特に架け替えと新技術、それと分かりやすい指標で評価、情報提供の3点について、私のほうからご説明をさせていただきたいと思います。私どもは橋りょうを100年間ぐらい持たせたいという考えでこの計画を作っておりますけれども、100年間というと、今から100年後、ほぼ3世代にまたがるわけですね。

今から100年前を想像していただければと思いますが、100年前、私も含めて皆さま方もまだ生まれていない。そういった時代からの技術革新のお話になりますが、分かっている範囲でお示ししたいと思います。まず、ビルの高さがもう数段違ってきていますね。当時、50～60年前でよろしいかと思っておりますけれども、たかだか10階程度のものが最高の高さだったと思っておりますが、今、超高層ビルということで、30階は当たり前、そんな時代になっております。50年ぐらいの間でもこれほどの技術の進化があるのですね。ですから、当然ながら、100年の間にはかなりの技術の進歩があると思っております。今時点で考えられる新しい工法なり技術なりを採用していますが、当然、皆さま方のご意見の中にもあったように、新しい技術というのはどんどん進化しておりますので、見直ししながらより良い計画として進めていきたいと考えております。

それから、情報をどのように皆さま方にお出しするかということでございますが、この点については課長からご説明しましたように、この計画自体が始まって間もないということで、どういう指標で情報を出せばいいのかというところがまだ定まっていない状況です。これについても今後、他の自治体の例、それから新しい考え方も取り入れて、できるだけ分かりやすい情報にしていきたいと考えてございます。ここの部分についてはまだ、お時間をいただきながら進めてまいりたいと考えております。

いずれにしても、市民の方からおおむねご賛同をいただいている事業でございますので、しっかりと3世代先まで、私どもはこの事業を進めていきたいと考えております。以上でございます。

コーディネーター ありがとうございます。それでは、時代の変化を的確にとらえることと、それから情報の公表の検討につきましては、よろしく願いいたします。

これをもちまして議論を終結したいと思います。ここでまた皆さんには意見シートのご記入をいただきながら、ご意見をいただきたいと思います。それでは、ご意見のある方は挙手をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。市民モニターの方も同時に、何かご意見ございましたら挙手のほうをお願いしたいと思います。はい。どうぞ。

市民委員 これはかなり専門的な事業ですので、われわれ素人がどうこう言えることではないような気がします。ただ、お願いしたいのは、やっぱり専門的な皆さんの知識で、適切な定期点検で、維持管理、修理のタイミングなどをお調べになると思っておりますけれども、適切な管理を、それもコストを考えながら、お願いしたいと思います。

コーディネーター ありがとうございます。ほかにございますか。よろしいですか。そ

れでは、この事業につきましては、ただ今ご意見がございましたとおり、専門性が高い事業で、なかなか内容について深く理解するのも大変難しいかと思いますが、いずれにしても、毎日通る道路の一部でございますので、維持管理等につきましては十分お願いするということで、議論を終結したいと思います。

それでは、次は 16 時 47 分から、学校施設の改修、建て替えにつきまして審議をしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。どうもありがとうございました。

(了)